



赤井川村立赤井川小学校 学校だより

あかがわ



令和5年 8月31日 No.5

【教育目標】

明日に生きる力をはぐくむ

赤小の子

あいてを思いやり、認める子

からだをきたえる子

しょうらいのゆめや希望に向かって、

努力する子

発行責任者 校長 姉帯 隆文

「ありがとう」

校長 姉帯 隆文

2学期が始まり、10日ほどが経ちました。元気な登校の姿が毎日見られ、単なる「校舎」が「学校」に変わったと感じています。暑い夏休みが終わったあとも、記録的な暑さが続いた今年の北海道でしたが、秋も例年より気温が高めの予想が出ています。8月下旬になり日中はまだ夏らしい気候ですが、朝夕はやっと涼しくなり、徐々に過ごしやすくなってきました。しかし、今後急に寒くなったりすると、暑い夏が恋しく思えるかもしれません。

先週は暑すぎて仕事にも影響があった方もいたのではないかと思います。道内公立学校は24日は調査した1846校中6.8%が臨時休校で、31.2%が下校時刻の繰り上げを行いました。赤井川の小中学校は教室(特別教室以外)にエアコンが完備され、涼しく快適な学習環境が提供されているため、熱中症の危険も少なく安心でした。それでも、先週水・木曜日は体育と休み時間の運動を止め、教室等で過ごしました。今年のような天候が今年だけのものであればよいのですが、地域温暖化による豪雨などの異常気象や災害が増えてきていることを考えると、来年度以降もこのような天候が続くかもしれません。そうならないことを願うばかりです。

さて、毎年4月に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査を行っています。その中に自己肯定感に関する質問(「自分にはよいところがあると思いますか」など)もあり、日本は例年諸外国に比べて、下記のように自己肯定感が低い傾向にあります。

「総務省平成30年の統計調査 国際比較より(日・独・米・英・仏・韓・スウェーデン)」

- ・日本の若者は、諸外国の若者と比べて、自身を肯定的に捉えている者の割合が低い傾向にある。
- ・日本の若者の自己肯定感の低さには、自分が役に立たないと感じる自己有用感の低さが関わっている。
- ・日本の若者は、諸外国の若者と比べて、自分自身に満足していたり、自分に長所があると感じていたりする者の割合が最も低い。
- ・一方、日本の若者で、「自分は役に立たないと強く感じる」に、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合は、他国との比較で中間程度であった。
- ・日本の若者は、自分が役に立たないと強く感じている者ほど自分自身に満足している者の割合が低かったが、同様の関係は諸外国の若者の意識には認められなかった。

自己肯定感が低いと積極的な行動ができなくなったり、挑戦意欲を失ったり、壁に当たったらすぐにあきらめたりしやすいなど、前向きな行動つまり思考自体が難しくなってきます。そのためには「いいところがあるよ」「〇〇(過程・努力)がいいね。」など、叱る・注意する以外の声掛けと同様、役に立っている(自己有用感)ことを感じさせることが大切ということが、上記の調査からもわかります。役に立っていることを伝えるのに一番簡単なのは、「ありがとう」と言ってあげることです。「ありがとう」は「私の役に立っていますよ。あなたは人の役に立つ人間なのです。ありがとう。」という意味も含まれています。その人の役に立っているから出る言葉なのです。赤井川小学校の子どもたちはありがとうをよく使おうと思います。ですから、今年の設問「自分にはよいところがありますか。」は、100%「ある」「どちらかというところもある」かもしれません。

2学期の登校日数は多いように見えて85日間です。この限られた日数の中で、子どもたちの頭・体・心の成長を促していくよう努めますので、2学期も学校・家庭が連携し、協力し合いながら学習や行事を進めていきましょう。今学期もよろしくお願いいたします。

始業式 8月21日(月)

2学期始業式を8月21日に行いました。1学期末よりも、少しずつ背が伸び、日焼けした子どもたちを学校に迎え、落ち着いた雰囲気の中で式を行いました。

始業式では、[]さんのピアノ伴奏に合わせて校歌を全員で歌い、児童会代表[]さん、中学年代表[]さん、高学年代表[]さんが、夏休みの思い出や2学期の目標などを発表しました(当日お休みだった低学年代表の[]さんは、放送で後日発表しました)。

校長先生から、「自分からがんばることの大切さ」「心・頭・体それぞれの目標を目指すこと」についてのお話を聞き、思いを新たに子どもたちの様子が見られました。



社会を明るくする運動標語表彰

赤井川小学校は、毎年「社会を明るくする運動」に参加しています。今年も1学期末に各学級で「社会を明るくする運動標語」に取り組みました。この度、村内入賞作品と北後志表彰作品が決定されましたので、始業式の場で伝達表彰を行いました。壇上で校長先生が一人ひとりの作品を紹介すると、胸を張って、賞状と副賞を受け取っていました。

第73回 社会を明るくする運動 赤井川村入賞作品

「やさしさで みんなをげんきに していこう」 1年

「フワフワことば みんなをげんきに スマイルに」 4年

「おかえしは 元気いっぱい 『ありがとう』」 6年

* []さんの作品は「社会を明るくする運動 北後志作文・標語コンクール」佳作にも選ばれました。



1日防災学校 8月29日(火)

この日に、「1日防災学校(避難訓練・各学級防災学習・防災給食・引渡訓練)」を行いました。学校では、近年多発する様々な自然災害に対し、子どもたちの防災意識を高め、自分で自分を守ることを目的に、このような一連の学習を一日通して行う「1日防災学校」の取組を進めています。進んで体験し、活動し、積極的に防災意識を高めようとする子どもたちの姿が見られました。



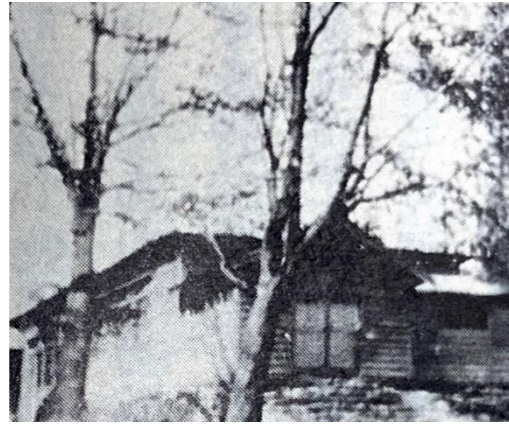
赤小カレンダー 9月

8月25日は開校記念日

赤井川小学校は明治32年(西暦1899年)8月に開校しました。明治32年の6月に赤井川村ができ(大江村より分村)、その2ヶ月後に赤井川小学校(赤井川尋常小学校)が開校しています。2ヶ月という期間の短さから当時の赤井川村民の学校設立にける熱い気持ちを感じられます。開校翌年の明治33年の記録によると、学校の学級数は3学級で、児童数は154名でした(「赤井川村史」より)。

当時の小樽新聞には、児童数がどんどん増え校舎をくり返し増築の様子が紹介されています。明治35年の運動会に参加した子どもは300名以上(在籍していた子どもは195名)で、大人も含めた参加者は1000人以上だったそうです。

開校当時と現代、時代は変わりましたが、当時も今も学校が、子どもの成長と幸せを願う場所であることは変わりません。



開校当時の赤井川小学校

なやみを ことばで つたえましょう

【保護者のみなさんへ】

学校では、日常的な観察・声かけ以外にも、子どもたちの心の悩みや不安を見つけ、支えるために、次のような取組を進めてきました。

- ①児童面談(担任と子どもが1対1で話せる場の設定)
- ②スクールカウンセラー(専門家に子どもが相談できる機会)
- ③QU(不安や自己肯定感の育ちのアセスメント)
- ④支持的生徒指導(一人ひとりを支え、伸ばすための日常的なかかわり)
- ⑤いやなこと(いじめ)アンケート(困り感を捉える)



今後も様々な場面、方法で子どもたちの悩みや不安を聞くことができるよう学校として努めてまいります。普段子どもたちと生活を共にしている学級担任はもちろん、養護教諭、教頭、校長など、職員誰もが相談窓口になりますので、子どもに「眠れない、怒りやすくなった、強い不安を感じている」などの様子が見られましたら、お気軽にご相談ください。

また、学校以外の相談窓口もありますので、別紙でお知らせした「相談窓口」もご活用ください。

【じどうの みなさんへ】

こころの中の もやもやした きもちを ことばにすると もやもやを まわりの人につたえることができます。学校の大人みんなが みなさんのみかたです。こころに「もやもや」が たまってしまいうまえに つたえてほしいと わたしたちは、おもっています(たんになの先生じゃない人でも だれにでも はなしてくれて だいじょうぶです)。

もし、まわりのおとなに つたえづらいときは、いろいろな そうだんまどぐちに そうだんすることも できます。ひだりの QR コードは そのひとつで、「おなやみ ポスト」と いいます。ひとりで こまってしまうまえに、そうだんしてみましよう。



おなやみポスト

日	曜日	予定
1	金	地域公開参観日 学級レク2年 PTA 懇親会
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会 巡回小劇場
5	火	村連P役員会
6	水	児童会 読み聞かせ
7	木	A日課
8	金	3・4年社会科見学 5・6年こころの劇場
9	土	(まるっと農村フェス)
10	日	(まるっと農村フェス)
11	月	1年食育 マラソン記録会週間(22日まで)
12	火	
13	水	56年宿泊学習
14	木	56年宿泊学習 しらかば編集会議
15	金	56年休業日
16	土	(ふれあい健康まつり)
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	教育講演会実行委員会
20	水	児童総会 読み聞かせ
21	木	A日課 秋の交通安全街頭指導~26日まで
22	金	なかよし班学び合い 教育講演会
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	なかよし班会議
27	水	児童会 読み聞かせ
28	木	A日課
29	金	通知表配布日 PTA 三役部長会議
30	土	1年生学級レク

■地域公開参観日(9/1)
この日 9:25-12:05 は自由にどの学級でも参観できます。子どもたちのがんばる姿をご覧ください(懇談会はありません)。

■PTA 懇親会(9/1)
18:00 からコミュニティーセンターで、PTA 懇親会を行います。

■巡回小劇場(9/4)
赤井川村教育委員会主催の観劇です。赤井川中学校、都小学校の児童生徒も会場の赤井川小学校に集まって、同じ劇を観ます。

■3・4年生社会科見学(9/8)
都小学校と合同で、村内の各施設を見学し、学習します。

■5・6年生こころの劇場(9/8)
劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたかった猫」を岩内地方文化センターで観覧します。

■マラソン記録会週間(9/11-22)
低学年1km、中学年1.5km、高学年2kmをそれぞれ自分の目標に向かってタイムを計測し、自己ベストを目指します。学級の実施日時は学級通信でお知らせします。担任に確認してください。(毎回暑さ指数を測定し、危険な場合は実施しません)

■5・6年合同宿泊学習(9/13-14)
ニセコ・倶知安方面で都小学校と合同宿泊学習を行います。自然体験活動や自主研修、現地の小学校との交流などに取り組みます。

■赤井川村連合 PTA 教育講演会(9/22)
午後6時より、赤井川小学校で行います。プログラマーやゲームディレクターとして活躍されている方の講演です。多くのご参加をお待ちしております。

■通知表配付(9/29)
赤井川小学校は、「前期・後期制」です。前期最後のこの日に、通知表をお渡しします。